

もしもイノシシに遭遇したら

イノシシはもともと警戒心が強く、臆病な動物だと言われています。

遭遇しても逃げていくことがほとんどです。

ただし、子ども（ウリ坊）を連れていたり、市街地に迷い込んだり、退路がないときなど、興奮している時には注意が必要です。

イノシシからの逃げ方

近づかない

遠くでイノシシを見つけたときは、そのままイノシシから見えないところに離れましょう。子ども（ウリ坊）を見かけても、近くに親イノシシがいますので、近づかないようにしてください。

背中を向けず、うしろに下がる

近くでイノシシに遭遇してしまったら、イノシシに背中を向けず、目をそらさないように、ゆっくりと後ずさりをして、安全な場所に離れてください。

落ち着いて速やかにその場から立ち去る

人を気にせず歩いているイノシシや餌を食べているイノシシを見かけたときは、慌てて走り出したりせず、落ち着いて速やかにその場から立ち去りましょう。

刺激せず、退路を明け渡す

イノシシと遭遇したときに、大声を出したり、物を投げたり、棒で追い立てたり、犬をけしかけたりすると、イノシシが興奮して襲ってくる場合があります。また、イノシシがけがをしている時や、迷って住宅街に迷い込んだときも、興奮している可能性が高いので、イノシシから見えないところや、できるだけ高いところへ避難してください。イノシシが住宅街へ逃げ込んだ場合には、警察へ110番通報、または役場企画財政課（082-820-1507）に連絡してください。

イノシシを近づけさせないために

エサは絶対にやらない

有害鳥獣の出没や被害は、畑や集落を「エサ場」と認識するところから始まります。農作物や生ごみなどのエサがあり、身を隠せる「ひそみ場」が確保できるとイノシシたちが私たちの町や畑を「エサ場」として学習してしまいます。可愛らしく見えても、野生動物には絶対にエサをやらないようにしてください。



イノシシはこんな動物です



《運動能力など》

- ・オスの成獣は鼻を使って、70kgの重さを持ち上げられます。
- ・数kmは泳ぐことができます。
- ・時速40km以上で走れます。
- ・1m以上のジャンプ力があります。
- ・突進力は、成人男性と同等以上です。
- ・かむ力は、成人男性の2倍以上です。
- ・犬並みの鋭い嗅覚とすぐれた聴覚を持っています。
- ・視力はブタと同じ0.1程度で、100m先の人間を認識できます。

《特性など》

- ・すぐれた学習能力を持っています。
- ・鼻を使って、地面を掘り返します。
- ・地面をもぐって、20cm位のすき間をくぐりぬけることができます。
- ・人が怖いので夜間に活動する機会が多いですが、安全な場所では昼間でも活動します。
- ・なんでも食べる雑食性です。